

案件情報にあるマスターコードとは？

対応結果（メンテナンス結果、問合せ結果、等）内容に応じて、区別して管理したい場合に利用可能なコードとなります。

マスターコードの内容は自由に設定可能となっており、メンテナンス等の対応結果を登録する際に、選択の上、登録することで区別して管理することができるようになります。どの部位に対するメンテナンスを実施したか、どこに入電があったか、誰に指示をしたか、等 多彩な用途でご利用頂くことが可能です。

マスターコードの利用目的・タイミング・用途例について

【利用目的】

- ・ 対応結果（メンテナンス結果等）内容に応じて区別して管理するために利用

【利用タイミング】

- ・ 対応結果登録時に選択して登録

【用途例】

- ・ どこに入電があったか
- ・ 誰に指示をしたか
- ・ どの部位に対するメンテナンスを実施したか、等

マスターコードの選択画面

案件情報編集画面

要請者名(漢字) | 入電電話番号 | 要請者電話番号

要請者名(かな) | 支払状況

マスターコード1 <input type="text"/>	マスターコード2 <input type="text"/>	マスターコード3 <input type="text"/>
マスターコード4 <input type="text"/>	マスターコード5 <input type="text"/>	マスターコード6 <input type="text"/>
マスターコード7 <input type="text"/>	マスターコード8 <input type="text"/>	マスターコード9 <input type="text"/>
自由設定コード1 <input type="text"/>	自由設定コード2 <input type="text"/>	自由設定コード3 <input type="text"/>
自由設定コード4 <input type="text"/>	自由設定コード5 <input type="text"/>	自由設定コード6 <input type="text"/>

🗑️ 削除する | 🔄 編集をキャンセル | 💾 上記内容で保存

マスターコード1

プルダウンで選択

案件情報にあるマスターコードとは？

マスターコード設定の流れ



「マスターコード設定」を選択する



画面右上「新規作成」をクリック

